

1	会議名	令和8年 第1回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和8年1月20日(火)午後2時30分～午後3時15分	
3	開催場所	岩国市役所2階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委員 村尾 利勝、渡邊 博明、岡田 淳子、岡崎 陽子	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 賀屋 和夫 教育政策課長 : 村重 武志 教育政策課 英語教育推進室長 : 藤本 佐祐里 学校教育課長 : 五郎丸 哲也 学校教育課主幹 : 松本 哲也 青少年課長 教育センター所長兼務 : 植田 明男 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 河本 葉子 中央図書館長 : 藤中 朗子 科学センター館長 : 大黒屋 誠 由宇支所長 : 山本 英裕 錦支所長 : 常国 良徳 美和支所次長 : 藤中 峰雄	
7	会議従事職員	教育政策課 : 山本 祥寛、廣本 菜穂美	
8	会議録署名委員	渡邊 博明、岡田 淳子	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第1号	所管事項について
	日程第3	報告第2号	公務上の事故に関する専決処分の報告について
	日程第4	議案第1号	令和8年度岩国市立小学校及び中学校において使用する学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について
	会議の概要	<p>教育長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまから、令和8年第1回岩国市教育委員会会議を開会します。</li> <li>・それでは、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、渡邊委員と岡田委員にお願いします。</li> <li>・本日の議題は、お手元に配布した資料のとおりとなります。</li> <li>・それでは、日程第2「報告第1号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案事項があれば説明をお願いします。</li> </ul> <p>由宇支所長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月5日(月)に幼児から小学生までを対象に開催しました毎年恒例の「お正月お楽しみ会」では、将棋とカルタを対戦形式で実施しました。負けて悔し涙を流す子供もいましたが、最後にはお菓子をもらって喜んでいました。また1月31日(土)には潮風公園みなとオアシスゆうで「たこあげ大会」を開催予定です。日本文化の継承という意味も含めて、</li> </ul>	

<p>教育政策課長</p>	<p>今後も継続して実施していきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周東支所は欠席です。あらかじめ、資料を預かっておりますので教育政策課から御報告いたします。</li> <li>・12月5日（金）に玖珂こどもの館で開催しました玖珂まち生涯大学について御説明いたします。今回は、市内、南河内を中心に活動しておられる株式会社たけふあむ代表取締役の東谷まどかさんをお招きし、「社会課題はビジネスチャンス！～ふるさとの里山を子供たちの未来へ～」と題して講演していただきました。全国的に課題となっている放置された竹林の整備をビジネスチャンスととらえ、持ち前のチャレンジ精神と行動力で課題解決に取り組む先生のお話は、何かと消極的になりがちな私たちの意欲を大きく刺激するものでした。玖珂まち生涯大学は、会員制の講座で今年度は118の方が会員登録され、全8回の講座を、のべ546の方が受講されました。そのうち24人は、8回全ての講座を受講され、閉校式において、皆勤賞として表彰したところです。来年度も運営協議会の皆様とともに、受講生の学習意欲を満たす講座の開催に努めたいと考えております。</li> </ul>
<p>錦支所長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦町、美川町では、12月に人権研修会を開催いたしました。美川町では、シンガーソングライターのちひろさんを講師にお迎えして「みんなちがって、みんないい生き方～金子みすゞの心とともに」と題して講演をいただいております。錦町では、「AI時代の人権侵害の最新事例と予防法」と題して、ネット社会における人権侵害について講演をいただきました。美川におきましては、詩の中にある金子みすゞさんの思いを、錦では生活から切り離すことができなくなっているネット社会からの被害について学ぶことができました。</li> </ul>
<p>美和支所長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月8日（月）、ハーモニーみわで、人権公演会として、「盲目のピアニスト 磯村靖幸さんのピアノコンサート」を開催しました。当日は美和小学校の5・6年生と美和中学校・坂上分校の全校生徒、一般の方の参加がありました。盲目のため、譜面も鍵盤も見えないにもかかわらず、曲をすべて暗記し、すぐに弾くことができるとのことで、何事もあきらめない強さを教えていただくことができました。児童生徒の皆さんに対して、鬼滅の刃やジブリメドレーを即興で披露されるなど、あっという間の1時間の公演でした。</li> </ul>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先般、岩国高等学校附属中学校の入試の結果発表があり、報道発表によると倍率は3.3倍とのことでした。現在、私学も含め、入学予定者数の精査をしています。今後は、私学の入試、公立推薦、2月においては主に中学校における立志式、3月は7日が中学校の卒業式、18日が小学校の卒業式ということで、各学校、まとめの学期を進んでいるところです。</li> </ul>
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立志の日の作文発表大会について御紹介させていただきます。本年度の</li> </ul>

立志の日作文発表大会は2月13日(金)14時30分から16時30分までを予定しております。会場は岩国市民文化会館の小ホールです。例年通り、高森みどり中学校と高水中学校も含めた市内16中学校の中から特に優れた優秀作品を8点選出し、8人の方には当日作文を披露していただくことになっております。現在、ホームページをはじめ、いろいろな機会を捉えて、市内の中学2年生の子供たちが今どんなことを考えているのか、また、どんな志を持っているのか聞きに来ていただきたいとの思いで、広報活動等も積極的に行っているところです。皆様も、お時間がありましたらぜひお越しください。

生涯学習課長

- ・2点補足説明させていただきます。まず、今月11日(日)に実施した二十歳のつどいについて、当日は、時折雪が降っていましたので、安全面を考え、屋外の階段、エスカレーターを封鎖し、受付を1階展示室に設け入場していただくようにしました。「入場受付システム」を今回も実施しましたが、トラブルなくスムーズに進行できたと思っています。事前申込み897人のうち、884の方が出席されました。これからも二十歳の皆さんの思いを反映した式典が実施できるよう努めてまいりたいと思います。
- ・今年度から全市的に展開し実施している「おしゃべり広場ほっこり」について経過報告をさせていただきます。本事業は家庭教育支援事業の一環として、とどける元気応援サポーターのチーフサポーターにより、市内全域の18歳以下の子育て中の保護者やご家族を対象に、お困りごとやお悩みを話す場所の提供を行っています。基本は毎月第3水曜日に中央図書館で実施しており、4月から12月までで、相談者としては延べ55人の参加がありました。会場準備や片付け、進行など、支援員が主体的に実施されています。相談内容は様々ですが、悩みを話すことができ、話をきいてくれる場があるということが相談者の方への支援につながっていると感じています。本事業は需要があり参加者の満足度も高いと考えますが、事業の周知の方法や、実施場所、適切な相談窓口への紹介などの課題があると考えています。今後の展開として、積極的な周知、他課との連携による支援体制の構築を検討しています。こども家庭課、学校教育課、青少年課、生涯学習課の4課による切れ目のない子育てワーキングチームによる実施ということで、8年度はセミナー&サロン「ほっこり」として、相談や悩みの共有に加え、学びあいの視点も入れたいと考えています。具体的には、とどけるサポーターだけでなく、年に何回かはゲストサポーターとして保健師やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど専門的知識を有する方の参加を呼び掛けたいと考えています。実施場所についても、中央図書館を隔月開催とし、中央公民館やこどもの館での実施を検討しており、保護者の方へのサポーター紹介の場の設定や、小学

<p>中央図書館長</p>	<p>校から中学校への切れ目のない継続支援を展開していきたいと考えています。また、支援者の連携・強化ということで、8月には、こども相談室の相談員、支援教室指導員、心の支援員、とどける支援員、教職員等を対象として「支援者合同研修会」を実施する方向で調整を進めています。まだまだ課題はたくさんあると思いますが、少しずつ改善を加えながら継続してまいりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年7月1日から12月28日まで開催した図書館シールラリーと岩国あちこちクイズの結果について報告いたします。市内の図書館をめぐるシールラリーですが、8か所のシールを集めたA賞の賞品は、美和図書館にある自動車図書館のイラストが描かれたクリアファイルで90の方に、7か所のB賞はホンスキーのメモ帳で103の方に、6か所のC賞は缶バッジで105の方にお渡ししました。また、クイズの正解者に配布したしおりは393人で、多くの方に参加していただきました。</li> </ul>
<p>科学センター館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月7日（日）にシンフォニア岩国において、講演会「東大宇宙博士が教える宇宙の遊びかた」を開催し、139の方にご来場いただきました。講師として、現在は尾道市在住で、テレビやYouTube、書籍などで宇宙の魅力を発信しておられる井筒智彦氏をお招きしました。当日は、宇宙服姿で登壇され、現在すでに現実的となっている複数の宇宙旅行がそれぞれどのくらいの値段で行けるのかといったお話や、宇宙でコーラが飲めるのかといった宇宙を身近に感じることでできる話題について、クイズにも笑いを交えながら、終始楽しくお話いただきました。そのほかにも謎の多いブラックホールの話や、壮大な銀河の話など、知識のある方にも満足してもらえる内容でした。講演会終了後には、質問された十数人の参加者全員に、一人ずつ丁寧に対応いただき、参加者の満足度も高かったのではないかと感じました。また、講師の井筒さんから、岩国の参加者からは宇宙への関心の高さを感じ、また講演に来たいとのお言葉もいただきましたので、また時期を見て呼びできればと考えています。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月20日（土）に開催したイングリッシュブートキャンプ初級編について御紹介します。この行事は、PLATABCのスタッフが進行役となって、参加者が日常会話で使う英語を学び、実生活の中で自信をもって英語が使えるようになることを目的とした半年間にわたる英語学習プログラムで、今年度は6月から12月まで、毎月計7回にわたって実施してきました。ちなみに、イングリッシュブートキャンプ上級編も、12月は6日（土）に開催しております。これは、初級編と並行して開催しており、上級編では、より実践的な就職面接やディスカッションなどのビジネス英語に焦点を当てて開催しております。今回が最終回となる初級編では、プログラムの仕上げとして、今年度初めて岩国基地内に入っ</li> </ul>

<p>教育長 村尾委員</p>	<p>て実践フィールドワークを実施しました。参加者は前回11月のプログラムの際に、英語によるオーダー練習を繰り返し行うなど、事前学習を行った上で、P L A T A B Cを離れて、借り上げたバスで基地内に移動し、フードコートにて英語で料理の注文をすることに挑戦しました。参加者は料理をオーダーする経験だけではなく、基地内から参加した、基地ボランティアの方々と食事を楽しみ、交流する機会を持てたことから、参加者同士のつながりも生まれ、今後、P L A T A B Cにおいて、今回生まれた交流がさらに深まることを期待させる1日となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通しまして、御意見、御質問がございましたらお願いします。</li> <li>・青少年課にお尋ねします。先般、栃木県の高校生、大分県の中学生の暴行動画がインターネット上で拡散されるという大変な事案が発生しました。いじめ自体、大変な人権問題です。先ほど錦支所の行事報告にもありましたが、ネット社会の人権侵害も加わってきており、ネットで拡散され、人物が特定され、二重、三重の苦しみにつながってきます。人権フェスティバルの際に中学生が人権に関する作文を書いてくれますが、テーマとしてはいじめ問題が1番多いです。生徒の作文を読みますと、黙ってはいけない、皆でフォローして当事者を支える必要があるなど、見て見ぬふりをしないという意見が大半を占めています。今回の事案について、中学生の場合は見ても止める者がいなかったということで、人権問題として、校内の指導はどうあるべきかという部分についても議論が必要であると考えますがいかがでしょうか。</li> </ul>
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分の中学生の暴行動画の件について、ニュースで確認しました。昨年の夏ごろの出来事という報道であったと記憶しています。以前、教育委員会会議において岩国市のSNSトラブル防止チェックリストの結果をお知らせした時に、岩国は言葉のいじめが1番多いとお話ししましたが、SNSで文面をあまり確認せずに送信している子供が意外と多いという結果があり、私どもも衝撃を受けました。この度の動画についても、人権に対する感覚が子供たちの中で麻痺している部分があると思っています。年明け、先週初めには、この大分県の事案を踏まえて、各学校に青少年課から、人権を大切にする学校でなくてはならない、いじめや暴力は許されることではないということと併せてSNSの使い方について改めて周知、指導を徹底するよう文書にて依頼したところです。昨年は岩国市内でもSNSに関するトラブルがいくつかあり、岩国警察署に御協力をいただいて夏休み前に学校をまわっていただき、SNSの正しい使い方について御指導いただいたところです。そのおかげかSNSのチェックリストを2回実施した効果もあってか、今のところ、大分のような動画拡散等の事案は起こっていませんが、対岸の火事ではないと考えています。大分では、学校配布のタブレットで撮影されたものと報道がありましたが、個人の携帯や校外など、可能性としてはゼロではな</li> </ul>

<p>村尾委員</p>	<p>いと思っています。まずは、命を大切にする、友達を大切にするなどの気持ちを子供たちに醸成し、併せて、SNSの使い方の指導についても継続して取り組んでいかなければいけないと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回報道にあったものは、暴力事件であり、傷害事件です。いじめも当然いけません、毅然とした態度で、いじめを発見した生徒はすぐに先生方に応援を頼むなどの対応が必要かと思います。傷害事件というのは許されないことです。そのあたりも含めて、いじめと一緒に対処しなければなりません。今、お話にあったように学校のタブレットが使用されたと言われてますね。人物の顔の拡散などはあってはならないことです。個人情報も含めて、岩国市としてきちんと管理をしていただきたいと思います。子供たちが書いた作文等についても、校内に掲示するなどして、趣旨の説明等を徹底してほしいと思います。せつかく時間をかけて書いた立派な作文なのでみんなで共有して、いじめ問題について真剣に考える機会を設けてほしいと思います。</li> </ul>
<p>渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4点お尋ねします。1点目は、各支所で、とても魅力のある講演会を実施されていますね。市民としても、情報が公開されると行きたくなるような有名な講師をお招きしているように感じます。こうした講演会は講師料等をお支払いしていると思うのですが、提案として、岩国市は広域なので、各支所で連携して、何日間かに渡って講演してもらえるようにしたらどうかと思いました。以前、ピーター・フランク氏が市内の小学校で講演会をしてくださったことがあると思うのですが、同じようなイメージで調整してもらって、より多くの市民が共有できたら良いと思います。</li> </ul>
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2点目、「ほっこり」についてですが、青少年課のファミリーピアサロンと連携はされていますか。</li> <li>・こちらの事業については、こども家庭課、青少年課を含めて3課が連携して行っています。青少年課の職員もほっこりに参加させていただくことも度々ありますし、ファミリーピアサロンに生涯学習課の職員が参加することもあります。そのような形で連携はしていますが、ピアサロンはあくまで、不登校のお子様を持つ保護者に特化したもので、ほっこりはそれも含めた子育て全般の悩み事に対応するものとして支援員の方が中心になって運営されています。次年度は、より発展的な形で、一層連携が深まるような取組を計画しているところです。</li> </ul>
<p>渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点目です。PLATABCのイングリッシュブートキャンプ初級者編は、12月で今年度のイベントが終了したということでしたが、最終的な参加人数を見ても、予定より多かったということで、とても好評だったのではないかと思います。今後、こうした取組を拡張できると良いですね。岩国市の英語教育、生の英語が体感できる機会として、寄与できると良いと思います。</li> </ul>

教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4点目は、現在岩国市で閉校や廃校になった学校の件ですが、有効活用されているか、または今後活用する予定があるかお伺いしたいと思います。山口県内でも一般企業が廃校を活用して事業を行っている事例があると聞きますが、いかがでしょうか。</li> </ul>
岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の廃校の利活用の状況についてですが、廃校数は全体で 36 校ございます。そのうち 17 校は既に他部署に所管替えしており、それらは学校以外の施設として活用が図られていると理解しております。残りの 19 校については、現在も教育委員会が所管しております。そのうちの 3 校については校舎自体を解体しており、残りの 16 校については、基本的には地域の方々が、生涯学習活動や文化スポーツ活動などに利用しておられる状況です。その他、団体等に有償で貸し出しをしている学校もあります。具体的には、河山小学校は地域の商工会議所に、向峠小学校については通信制の高校に貸付を行っています。基本的には、利活用を進める上では建物の状態が非常に大切で、いわゆる旧耐震で建てられている学校については積極的に利活用を図ることが難しく、現在は今の耐震基準に合わせて建設されている学校について、ホームページに掲載した上で、利活用の提案等を募っているところです。</li> </ul>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習課の「おしゃべり広場・ほっこり」について、家庭教育支援員とは、どのような方がされていますか。</li> </ul>
岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々ですが、元教員、保育士、主任児童委員、PTAのOB・OGの方などがおられます。</li> </ul>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題として、適切な相談窓口の紹介、各課との連携が必要とありましたが、そうした窓口を紹介できるような方々なのでしょうか。</li> </ul>
岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援員の皆さんには、お話を伺った上で、相談窓口として関係機関を紹介し、適切な支援等につなげていただくことができるように、今以上に研修を行い、スキルアップを図ることができればと考えています。</li> </ul>
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談窓口などが分かっている人がいらっしゃると心強いですし、行政等のやっていることがアピールできる場になると思います。口コミなどでも広がっていけば良いと思いました。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各課、各支所で興味を引くようなイベントを組んでいただき、ありがたく思っています。定員に対する参加者を見れば、どの程度の人気であったか憶測できると思います。これらのイベントは、QRコードでアンケートや満足度など、取っておられますか。もし、集計されているようなら、満足度の高かったものについて報告をいただいたりとか、受け手にとってどうだったかという生の声を聞いたりしてみたいと思います。少ない人数でこれだけバラエティに富んだイベントをやってくださっているとありますが、なぜリピーターが多いのかなど、来られた方の声から拾っていくのが良いと思います。よろしく願いいたします。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別のないようでしたら、以上で報告第 1 号を終わります。</li> </ul>

各委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• つづきまして、日程第 3 「報告第 2 号 公務上の事故に関する専決処分の報告について」を議題といたします。なお、これ以降の日程につきましては、公開までの間、議事については非公開としたいと思いますが、御異議ありませんか。</li> <li>• 異議なし。</li> <li>• 御異議なしと認め、日程第 3 以降は、非公開といたします。それでは、非公開として議事を進めてまいりますので、関係者以外の方は御退出をお願いいたします。</li> <li>• それでは、学校教育課から説明をお願いします。</li> </ul>
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「報告第 2 号 公務上の事故に関する専決処分の報告について」御説明いたします。本件事故は、令和 7 年 11 月 18 日午後 3 時 20 分頃、岩国市立岩国中学校の駐輪場において、突風により倒れた防球ネットが、駐輪していた相手方の生徒の自転車に接触し、泥除けフードの後部を損傷したものです。その後、相手方と示談交渉を行った結果、市側が 100 パーセントの過失となり、相手側に損害賠償金として 3,892 円を支払うことで、示談が成立しました。従いまして、地方自治法第 180 条第 1 項の規定に基づき、令和 7 年 12 月 16 日に専決処分いたしましたので御報告いたします。今後とも、学校施設におきまして、事故防止に努めてまいりますので、よろしくをお願いいたします。</li> </ul>
教育長 村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ただ今の説明に御意見・御質問等ございましたらお願いします。</li> <li>• 学校は防球ネットをかなりの数持っていますから、突風など予見できる時には倒して帰るなどの措置をしていると思いますが、なぜ倒れたのですか。</li> </ul>
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 当日午後 2 時時点の岩国市の最大風速は 5 メートルでしたが、警報や注意報はともに発令されておりませんでした。倒れた現場を目撃した職員並びに生徒もいなかったため、詳細な部分については不明です。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 怪我がなくて良かったです。防球ネットは風が吹いても倒れないように固定したり、暴風など予見できる時は倒したりしていると思いますので、こうしたことはめったにない事例だと思いますが、今後も気を付けてください。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 別にないようでしたら、以上で報告第 2 号を終わります。</li> <li>• 次に、日程第 4 「議案第 1 号 令和 8 年度岩国市立小学校及び中学校において使用する学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書の採択について」を議題といたします。</li> <li>• 学校教育課から説明をお願いします。</li> </ul>
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「議案第 1 号 令和 8 年度岩国市立小学校及び中学校において使用する学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書の採択について」御説明いたします。「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 13 条の規定により、岩国市立小学校及び中学校において令和 8 年度に使</li> </ul>

<p>教育長</p>	<p>用する教科書について、令和7年9月の教育委員会会議で承認いただいた教科用図書のうち、5部の図書について供給が不可能となったため、新たに追加した2部の図書の採択について、教育委員会の承認を求めるものです。こちらは小・中学校の特別支援学級で、それぞれの学校で採択された教科書になります。御審議のほどよろしく申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今の説明に、御意見・御質問がございましたら申し上げます。</li> <li>・別にないようでしたら、議案第1号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。</li> </ul>
<p>各委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし。</li> <li>・御異議なしと認め、議案第1号は原案のとおり決します。</li> </ul> <p>・本日の議題は以上でございます。次回の教育委員会会議の日程について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回定例会は、令和8年2月12日（木）、岩国市役所本庁2階特別会議室において、9時30分から所属長会議を、10時から教育委員会会議を開催いたします。</li> </ul>
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上をもちまして、令和8年第1回岩国市教育委員会会議を終了いたします。</li> </ul>

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 渡邊 博明

教育委員 岡田 淳子